ぼうさいこくたい 2018

災害と保健・医療連携フォーラム～災害にあっても健康で乗りきる！～

概要

本フォーラムでは、東日本大震災、熊本地震、各地の風水害などの経験と教訓を踏まえて、保健・医療の面で、専門家、実務者、市民が連携して被災者をいかに支えるかを考えます。そして、心身の健康に考慮した避難生活の過ごし方など、市民の方々にも知っておいて頂きたいことをわかりやすく解説します。医学研究が一つの柱である東北大学災害科学国際研究所が主催し、DMAT 隊員、DPAT 隊員、看護協会、大学院生なども登場します。

日時
2018 年 10 月 14 日（日）10:00～11:30

出展場所
東京ビッグサイト 703 号室

リンク
BS34 東北大学災害科学国際研究所（セッション情報）
ぼうさいこくたい 2018

ぼうさいこくたい 2018

第 3 回防災推進国民大会

大規模災害に備える ぼうさいこくたい - 2018 - みんなの連携の輪を地域で強くする

災害と保健・医療連携フォーラム
～災害にあっても健康で乗りきる！～

東日本大震災、熊本地震、各地で連続する風水害などの経験と教訓を踏まえて、医療・保健・福祉の面で、専門家、関係者、市民がいかに連携して被災者を救援し、支えていくかを考えるとともに、心身の健康に考慮した避難生活の過ごし方などの、市民の方々にも知っておいていただきたいことをわかりやすく解説します。

日時
2018/10/14 日
午前 10 時 -11 時半

場所
東京ビックサイト
会議棟 7 階 703 号室
東京都江東区有明 3 丁目 11-1
りんかい線国際展示場駅
徒歩 7 分

1. 「被災地に駆け付ける緊急医療チーム DMAT と DPAT」
～こころとからだを守るみんなの味方～
東北大学災害科学国際研究所助教（DMAT 隊員） 佐々木 宏之
/ 国立病院機構災害医療センター （DPAT 隊員） 河嶌 譲

2. 「避難生活で健康を守るために」
（公社）日本看護協会 看護開発部看護業務・医療安全課長 久保 祐子

3. 「企業の自主防災組織と看護職が協働する帰宅困難者対策」
災害看護 GL プログラム（東京医科歯科大学大学院 共同災害看護学専攻） 濱舘 陽子

4. 「災害時でも健康を維持するアドバイス」
東北大学災害科学国際研究所教授（災害医学研究部門長） 児玉 栄一

5. パネルディスカッション

■司会 東北大学災害科学国際研究所教授 丸谷 浩明

参加登録
参加無料です。参加をご希望の方は、事前に参加登録をお願いします。
次のアドレスに「フォーラム参加希望」と書いたメールをお送り下さい。
電子メール bousaikokutai-forum2018@irides.tohoku.ac.jp（担当者：髙橋・初貝）

■主催
東北大学災害科学国際研究所

■後援
公益社団法人 日本看護協会、 一般社団法人 日本災害医学会

TOHOKU UNIVERSITY
指定国立大 災害科学 世界トップレベル研究拠点
IRIDeS International Research Institute of Disaster Science